

JUN通信

高木 純の市政だより



吉野川市議 高木 純

市の新婚世帯家賃補助大好評

予算②5250万円→②6823万円

市が行っている月額1万円の新婚世帯家賃補助が大好評です。そのため市は今年度から予算を増額しました。

この制度を利用した新婚さんへのアンケートでは、「石井町か鴨島町でなやんでいたが、この制度があったので鴨島町にした。」「少し家賃の高い部屋に住めた。」「とたいへん喜ばれています。」

また、制度を利用した方の50%が市外からの移住であることも分りました。

この制度を利用して若い夫婦が増え、さらに子育てもしてくれば市は活気づきます。



75歳以上の高齢者対象に

市が家具転倒防止金具を設置

地震発生時にタンスなどの家具が転倒するのを防ぐため、市はご自身で取り付けが困難な家庭を対象に家具転倒防止金具の設置を無償で行います。

対象となるのは、75歳以上で構成されている高齢者世帯や、身体障害者手帳1級2級の交付を受けた方のいる世帯など約4300世帯です。

申し込みは4月1日より防災対策課で、先着200軒になっていきますが、申し込みが多ければ市は補正で対応する

見込みです。

市が委託した職人さんが申し込みのあった各家庭を回って、金具を取り付けることとなります。また、取り付け金具は1世帯3セットまでになっていますが、これで足りない場合は個人負担となり、その場合も職人さんに取り付けをお願いできるようにするそうです。

南海トラフ巨大地震被害想定において、吉野川市での最大震度は6強と想定されています。備えあれば被害軽減につながります。



家具転倒防止金具

市の買い物弱者支援対策事業

移動販売車に補助金



買い物サポートワンコインサービス事業補助も

市は買い物弱者を支援する方策として、「買い物支援対策事業」と「買い物サポートワンコインサービス事業補助」の二つの事業を26年度から行うことを決めました。

そのうち「買い物支援対策事業」は、新たに食料品・日用品の移動販売を行う事業者に対し、車両購入費の一部を助成します。（2事業者まで）

また、すでに移動販売を行っている事業者にも車検費用の一部を助成します（10事業者）

「買い物サポートワンコインサービス事業補助」は、買い物に行けない人に代って、シルバー人材センターがワンコイン（500円）で買ってくるというものです。

シルバー人材センターが行う、この事業のPR活動にたいして、市が経費の一部を助成します。

市内では食料品店が急速に減少して、大型スーパーが国道沿いに集中している現状です。このため、食料品店のない『空白地』が広くなり高齢化もすすみ、いわゆる「買い物難民」が増えています。

この二つの事業で、買い物に困っている市民が「助かった!」と言えるようになるでしょう。



移動販売車の一例